

刊夕 警城時報

日八
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一ヶ月金貳圓
廣告料 一行十二字 日五字
日刊 日曜祝祭日 翌日休刊

時勢の波に乗りきれず 植電遂に身賣り

金成王國の牙城に 一沫の寂しさを漂ふ 經營の實權福電に移る

久しく地方實業界に覇を鳴らす植電は、福電に移つたものらしい。植電は福電と合併する。同社重役の語式會社は社長金成通氏の經る處によれば、来る本月下營の奇才を以てしても流石の總會に於ては合併の決に時勢の流れに棹し得ず遂には至らないが、上半期に福島電燈株式會社に身賣り中には合併が實現する事であり得る事となり郡南を風ある。合併の相手福島電燈に二沫の寂しさが漂ふに至る。吉野周太郎社長時代は、植電身賣りに決したに營業不振に陥り無配を續つた。植電身賣りに決したに營業不振に陥り無配を續つた。植電身賣りに決したに營業不振に陥り無配を續つた。

關係者の洩す處によれば大體次の如き事情である。政府は工業發達その他の目的から電氣料値下げを全國業者に説きつゝあり配當をなし若くは多額の重役賞與金を與へる前に先づ社債を整理し或ひは電氣料を値下げせよと強制するに至り地方小電氣會社は屢々逓信省電氣局

を招かれて以上の説得をなされるので會社經營者は従來の如き利益に浴する事が困難となつた。而も政府では電氣會社合併を強欲し近くは電氣會社合併が叫ばれるに至つたので全國的に電氣業者は仕事に嫌氣を差すに至り植電も同様の氣分に浸り先づ大日本電力に合併を申し込んだが順調に進捗せぬので遂に福電に身賣りするに至つたものである。植電は資本金五百萬圓、百二十五萬圓拂込で株主四百五十三名、十萬株、社債は長短を合し約百二十萬圓である。

天理教婦人會で 傷病兵を慰問

代表者病院を訪ふ
天理教平支部婦人會々員市子二百四十餘圓を得たので内二丁目谷口(六五)大料理屋・藝妓屋兩組合から和ロイ(七〇)遠山ヨシ(の寄贈)手拭四百三十本と共(六〇)小野キヨ、平澤チヨに慰問袋四百七十個を作り、名譽の戰傷を負ひ病院に收が代表し此の程若松市を訪容されてゐる勇士に慰問袋慰問した。白衣の將兵を送り度いと昨年來信徒を達はその厚意に感激してゐる他の有志間から寄附を仰た。

一家八人を支へてゐた 青年服毒自殺

生活苦を悲觀して
平市材木町二四關崎岩太郎某藥店から猫イラズ三十五方厘人又葉那久濱町中町グラムを買ひ求め同夜十時、佐々木カヅさん長男巖(二頃關崎方でこれのみ苦悶)は七日午後一時頃市内中を家人が發見應急手當を

宴會費を節約して 百圓を國防献金

四倉消防組の美學
四倉消防出初式は七日舉行し、時局柄新年宴會費を節約して百圓を國防費に獻金した。

興行を 種に詐欺

上遠野村字上遠野興行師辻上治三郎(四九)は曾我廻家金兵衛一座を引連れて濱通りを巡業中原町の運送屋を他を訪れ舞臺の上で宣傳してやると稱し多額の金錢を捲き上げ約束を履行せぬので原町署に檢舉された。

上海から南京まで 木村守江氏奮戦記

(其二)
ピラは八種類程あるが、不敬に於けるものなどは、から二三種を記し、これからが愈々追撃戦となつた。十一月十三日午前二時〇〇名を出發して、羅店鎮北方六軒の地に、江の流に添へて前進した。羅店鎮から約一里、江の流に添へて前進した。羅店鎮から約一里、江の流に添へて前進した。羅店鎮から約一里、江の流に添へて前進した。

撲殺夫婦起訴

四倉組 小頭交迭
内妻の連子を撲殺した上、の犯跡を晦まうと死体を、焼き棄てた鬼畜に等しい犯罪を敢てした田人村旅人前山國有林の炭燒業舞木長三、青木賢太郎氏任命された。

國華ホマード颯爽たり

皆様の美容室「理髮東京」は「オールサービス」の満全を期し國華ホマードを初め全部高級化粧品を使用し行届いた技術と共に奉仕致して居ります。

帝都美容師會々員 理東京
東京國華會 髪東京

植電が何故 身賣りに至つたか

經營に嫌氣をさす 同社關係者談

植電が何故福島電燈に身賣りをするに至つたか？同社関係者談

老婆縊死

中風を苦にして
神谷村字鹽邊渡邊富治(七一)さんは昨七日午前十時、尺も土を盛り、婆など時

を招かれて以上の説得をなされるので會社經營者は従來の如き利益に浴する事が困難となつた。而も政府では電氣會社合併を強欲し近くは電氣會社合併が叫ばれるに至つたので全國的に電氣業者は仕事に嫌氣を差すに至り植電も同様の氣分に浸り先づ大日本電力に合併を申し込んだが順調に進捗せぬので遂に福電に身賣りするに至つたものである。植電は資本金五百萬圓、百二十五萬圓拂込で株主四百五十三名、十萬株、社債は長短を合し約百二十萬圓である。

腹ごしの為のバグ、倒れる有様、休憩となるものなら泥の上でも何んでもグッ、限ると言ふ實際は見られぬ、言ふに言はれぬ光景となつてやつと露營と決定、夕食すまして、翌十五日午前七時出發、疲れた体を午後七時頃まで歩き露營の後、翌十六日午前、地に近い戦備準備と志、兩角部隊長進進隊長となり〇〇部隊中卒先して午前五時出發す。

即ち謝家橋鎮の戦斗であつた、この戦斗は福山河を界して多數のコンクリート製のトチカーあり可成の堅固であるが、皇軍の向ふ所敵なく三日にして友軍

腹ごしの為のバグ、倒れる有様、休憩となるものなら泥の上でも何んでもグッ、限ると言ふ實際は見られぬ、言ふに言はれぬ光景となつてやつと露營と決定、夕食すまして、翌十五日午前七時出發、疲れた体を午後七時頃まで歩き露營の後、翌十六日午前、地に近い戦備準備と志、兩角部隊長進進隊長となり〇〇部隊中卒先して午前五時出發す。

が澤山ある為め、或はボクモチを送る舌鼓を打ち、或は老酒に豚や鶏肉を乾盃をやる、正月と盆とが一緒に来た有様である。それに今迄の雨はからりと晴れて實によい天気、申分のない休日である。然しこの樂な日もたつた一日で〇〇日午前七時半(支那)六時半)箱深いまだ薄暗い中に出發、兵や、トチカーで立派な防禦陣地を造つてある長經鎮の又撃となる、仲々強張である、山砲、歩兵砲自動火器で攻撃する。皇軍勇士雨と飛び来る敵陣の中を前進する、謝家橋鎮でももうあつたが、これ程来る弾丸によくも當らないものだと思はれる位に敵弾が来る。

外科花柳病専門
入院隨意
平市六丁目
木村外科醫院
電話三〇九番

魚召すから ヒメマル凍魚

新鮮な冷凍貝焼あります

鯛 マナ鯉 ワカサギ
エビ 甘鯛 帆立貝
白魚 カナ頭 うに貝焼

日本水産三手特約(電話三三三三六番)
郵券平製氷會社
平市五丁目五二八番

干やなぎの御注文は
いか切込

御祝儀用 鯉節
御進物

特に体裁優美格安に勉強仕ります
鯉鹽辛 もありませう

丸仙魚店
平市土橋(電話六六二番)

立花派出婦人會
認公
會主 **立花むめ**
東京市在原區小山町四五六
電話在原六三八七番

松村村科
内科 胃腸病科
花柳病科 性病科
泌尿器病科 皮膚科
肛門病科

門專
院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電)町南市平

かまぼく折詰仕出
お惣菜用さつま揚・吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

北川外科
内臓外科 レントゲン科
泌尿器科

醫學博士 **北川芳夫**
技師 三浦常保
平市新川町二七
電話四六四番

昭和タクシー
強力電氣應用
神経痛に特効

電話三四〇三番

中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 康次
醫學士 西川 誠

診療科目
一、齒科一般
補綴科 保存科 矯正科
小兒齒科 齒槽膿漏科
一、口腔外科

平市田町(松月堂向)
電話五〇九番

吉田眼科醫院
市平紺屋町(電話六八番)

吸入用酸素純度99%

モノサシ
ハカリ
マラス

体温器
寒暖計

開院廣告 平病院
電話六四一番

平市警察署側(元共濟病院跡)
院長 醫學博士 **鈴木定藏**

診療科目
內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 醫學士 木下基一
產婦人科 醫學士 池谷宗三郎
一般外科 醫學士 岡田重徳
皮膚泌尿器科 醫學士 鈴木定藏
物理的療法科 技師 岡田重徳
藥劑科 醫學士 吉本孝平

◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
夜間診療ニ從事ス
(急患ハ此ノ限リニアラス入)
往診隨時 入室完備 入院隨時(自炊ノ便アリ)
入院料 一日 二等室園五拾錢